



2022年2月14日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第59号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。強気のカカオ相場が続いています。さて、今週はどのような展開を見せるのでしょうか。

1、ガーナ 21/22 クロップのカカオ豆港湾着荷数量は前年比 42%減少～2月3日時点～ (2/11)

10月1日に今年の収穫が始まって以来、ガーナで検品が終わり輸出向けの準備が出来た在庫 (=G&S 在庫) の港湾倉庫への入荷量は、2月3日までに 40万8000トンに達し、前シーズンの同時期より 42%減少したと、カカオ産業の統括機関である COCOBOD が金曜日に発表しました。G&S カカオとは、COCOBOD 傘下の品質管理部門である Quality Control Company (=通称 QCC) によって輸出港のある TEMA もしくは Takoradi にて品質検査が行われ、袋詰めされて出荷可能な状態になったカカオを指す。ガーナの今シーズンのカカオ豆の生産量は 80万トンに達すると COCOBOD はシーズン開始時には予想している。

2、アフリカ・カカオ：乾燥によりガーナの作物への期待に陰りが見え始める (2/8)

ガーナのカカオ生産者は、長引く乾燥のため、昨年の豊作の再現に対する期待が薄れ始めていると述べた。世界第2位の生産国であるガーナでは、主要な栽培地域の一部で数週間にわたり季節風を伴うハルマッタン (Harmattan) 風が吹いている。首都から 50 マイル離れた Kwabeng の町周辺の 2000 軒の生産者を監督する Boadi Yeboah 氏は、この風によって小さなさやはすでに枯れ、大きなさやにも影響が及んでいると述べています。

ニューヨークのカカオ先物は、西アフリカの最近の乾燥した天候がライトクロップの収穫量を減少させるという懸念から、今年に入り、5%以上上昇している。欧米のトレーダーはシーズン開始前、ガーナとコートジボワールが、より良い農法とより高い賃金などの業界の変化を受けて、今シーズンも過剰生産になる可能性があるかと推測していた。

世界一の生産国であるコートジボワールでは、長い乾季の後、ようやく南部と南東部で雨が再開された。中央西部など他の地域では依然として雨が降っていないが、シーズン中盤の収穫に恩恵をもたらすと期待されています。

乾燥した天候はナイジェリアにも影響を及ぼしており、アビア州の生産者である Loveday Kalu 氏によると、7週間雨が降っていない農園もあるとのこと。12月中旬に降った雨でカカオの木に新鮮な花が咲いたが、今は枯れてしまっているという。

カメルーンでは、この1週間の雨でカカオの木に新しい芽が出たと、Bafia 近くの Ngoro の生産者、Nguile Emmanuel は語っている。

3、カメルーン、品質向上のためカカオ乾燥炉を 55 基建設へ (2/11)

カメルーンは、カカオ豆の品質向上のため、同国の主要産地である南西地方にレンガ造りの乾燥炉を新たに 55 基建設する予定であると、政府の農業団体が木曜日に発表した。

この計画は、農業インフラ開発プロジェクトの一部であり、カメルーンの最高品質であるグレード 1 カカオの生産量を現在の 2%から少なくとも 11%に引き上げるための政府の取り組みの一部であると、プロジェクトコーディネーターの Besong Ntui Ogork 氏は述べました。

このオーブンは、薪を燃料とする旧式の泥レンガのオーブンに代わるもので、豆が煙で汚染され、バイヤーに拒否される可能性があるため、このオーブンを使用する予定。

4. コートジボアール新物、1/31-2/6 の週間着荷数量は 78,376 トン (2/7)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、78,376 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は 51,907 トンであったので現在港への着荷は増えている。10 月 1 日のシーズン開始からの総着荷数量は、約 154 万トンとなっており、昨年同時期の 153 万トンとほぼ同じ数字となっている。収穫の遅れがシーズン当初に見られたが現在は昨年を上回る数字で推移している。

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボーのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

以下は、10 月 1 日から 1 月 30 日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	245,949
Saco 社	179,251
アウトスパン(オーラムグループ)	168,708
Touton 社	98,876
S3C 社	94,334
その他企業	748,367
合計	1,535,485

5、ナイジェリアのクロスリバー州ではカカオ価格が上昇、オスン州では下落 (2/12)

カカオ豆の価格は今週、ナイジェリアのクロスリバー州で上昇したが、オスン州では下落したと、トレーダーが金曜日に発表した。

国内第二のカカオ生産地であるクロスリバー州では、グレードの高いカカオが 1 トン 120 万ナイジェリアナaira (≒2875 米ドル) で販売されていると、トレーダーは述べた。これは、同州での水曜日の取引価格であった 116.5 万 NGN (≒2,791 米ドル) から上昇した。国内第 3 位のカカオ生産地であるオスン州では、9 日前の 122 万 NGN と比較してやや下がり、現在 1 トン 当たり、約 120 万 NGN で販売されているとのこと。

6、チョコに惚れ、海を渡った23歳彼女の桁外れな挑戦（東洋経済オンライン 2/11）

～バイト代貯め19歳で現地へ行き受けた衝撃～

バレンタインの定番スイーツ、チョコレート。日本では、チョコレートの原料となるカカオ豆の約8割を、アフリカのガーナから輸入している。しかしガーナのカカオ農園で働く人のなかには日給約2ドルで生活する人もいるという。そんな彼らにとってチョコレートは高級品のため、味を知らない人も大勢いるようだ。

そんなガーナの現状を変えるため、1人の日本人が現地のカカオビジネスに革命を起こしている。Mpraeso（エンプレソ）のCEOを務める田口愛さん（23）だ。

2021年11月、本田圭佑さんや富永愛さんなどと並んで、ニューズウィーク日本版の「世界に貢献する日本人30」に選出された田口さん。ガーナでどのようなビジネスに取り組んでいるのだろうか？



ガーナの「カカオ革命」に取り組む、MpraesoのCEO・田口愛さん（筆者撮影）

上記文章、写真は下記より引用、全編記事も下記から読めます。

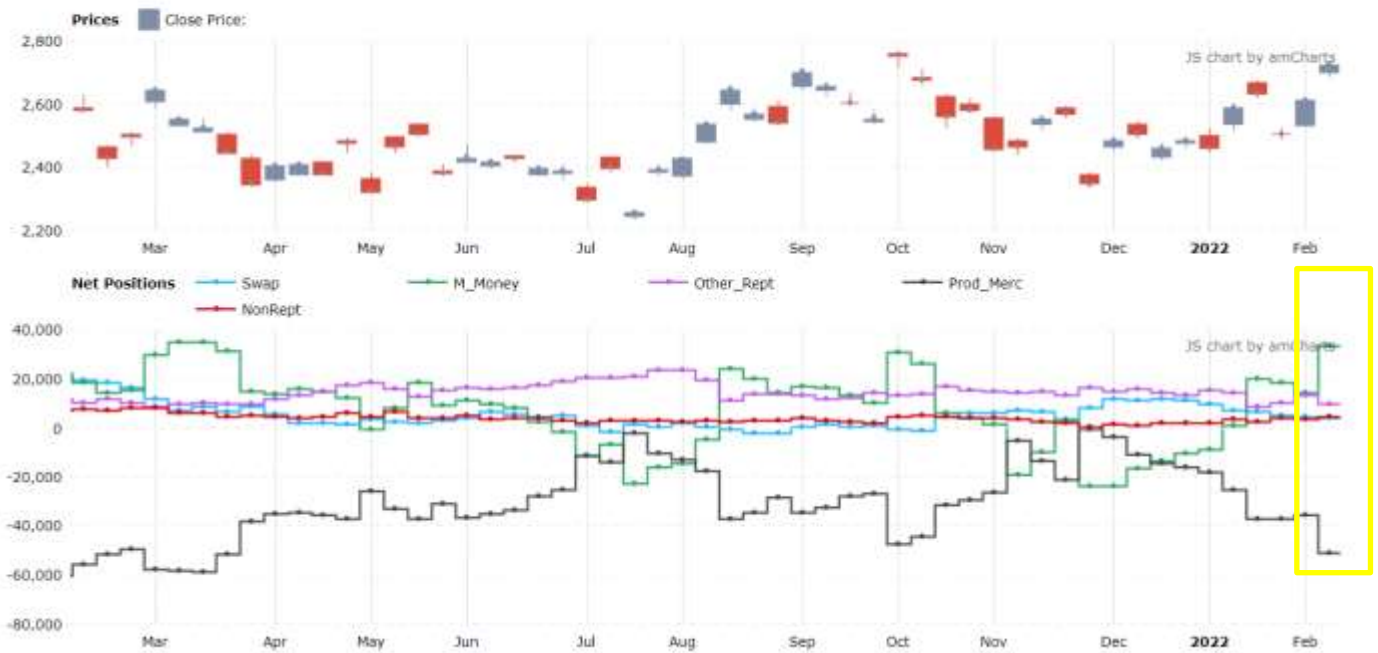
<https://toyokeizai.net/articles/-/509781>

7、ファンド勢のNYカカオ先物は純買い越しポジションが増加 - 11か月ぶりの高水準(2/12)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買い越しポジションを19,523ロット増やし、34,258ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、2月8日）の取引が含まれている。

- 純買いポジション（Net-long position）は過去11か月で最も強気（多い）数量
- 総買い数量は先週より **14,158ロット**増加し、60,720ロットで、過去16か月で一番多い数字
- 総売り数量は先週より5,365ロット減少し、26,462ロットとなった。過去8か月で一番少ない数字。

Prices & Net Positions



2月1日から2月8日までの週では、投機筋（上記の緑グラフ）の買いが急激に増えて、実需筋（上記の黒色のグラフ）の売りが急激に増えている。これは、投機筋の買い対して、実需筋（＝産地の輸出プレイヤー）の売りが先物取引場で活発に行われたことを示している。実際、ベネズエラ、エクアドルなどの輸出者、生産者などは今回の上昇を受けて、新規の販売もしくは既存の契約の値決めを行ったケースも多かった。先週後半の値動きはやや落ち着いたがまだ買いが強く価格上昇の力はかなり強い。

過去1年のトレンドと比較しても、現在の投機筋の純買いポジションの数量は最大値になっており、これ以上の買いはそうそう積みあがらないほど多くなっている。とはいえ、2020年2月に高値相場から一気に急落した時には、投機筋だけの純買いポジションの数量は現在の3.4万ロットの2倍以上の8万ロットまで積みあがった事例もある。8万ロットは異常値ではあるが、現在のレベルから更に積みがるようであれば2900-3000ドルの価格まで上昇するほどの強気相場になっていくであろう。

8、投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが増加。過去15週で最高値（2/12）

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買い越しポジションを5,997ロット増やして、23,278ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、2月2日）の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去15週間で最も強気水準
- 買いポジションの総量は2月2日までで、前週より2,199ロット増加し、32,542ロットとなった。
- 売りポジションの総量は2月2日までで、前週より3,798ロット減少し、9,264ロットとなり、売りポジションだけの総量では過去15週間で一番少ない数字。

参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders

Futures only

ICE Futures Europe

08/02/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
08/02/2022	271243	158648	210625	29959	13768	12173	30336	9454	13937
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader									
08/02/2022	100%	58.5%	77.7%	11.0%	5.1%	4.5%	11.2%	3.5%	5.1%
Number of Traders in Each Category									
08/02/2022	129	47	39	13	7	12	23	15	14

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。